

1 実施日時 令和6年2月25日（日）11時から16時30分まで

2 実施場所 青葉シンボルロード（静岡市葵区呉服町2丁目）

### 3 実施内容

（1）タイトル 「静岡SDGs万博2024 ～世界の目標を静岡から～」

（2）内 容 高校生が主催するイベント。SDGsを少しでも身近に、そして地域活性化に貢献！

### 4 プロジェクトの概要

#### <テーマ設定>

有志団体 US では、日頃から『SDGs』や『地域活性化』に貢献したいと思い、2年生から活動をしている。そして、2022年9月には1回目の主催イベント『高校生と学ぶSDGs』を開催し、高校生が幼児・小学生に向けて環境問題や地球温暖化について、座学・講座を通して知ってもらおうイベントを企画・運営した。そこで私たちは、「高校生が社会に必要とされる瞬間」が多いことに気が付いた。そのため、今回のイベントを開催したいと考えた。

その他にも、理由は3つある。1つ目は「教育」だ。静岡市は内閣府が選定しているSDGs未来都市や、国連が選定しているSDGsハブ都市に選ばれている。そして、近年では高校生も教育の一環でSDGsを学習して、校外活動にまでSDGsに取り組むようになった。そこで、イベントを通じて多くの人が参加していることを願い、開催したいと考えた。

2つ目はUSの活動コンセプトだ。USは「私たちが暮らしやすい明日を地球規模で考える」をコンセプトに活動しており、この言葉には3つの「US」が隠されている。そんな高校生の力で静岡市を盛り上げたいと考えた。

3つ目は、去年6月に開催を予定していた「静岡SDGs万博2023」の中止だ。イベント前日と当日の台風の影響を受けて中止という判断をした。そこで今回、このイベントができなかった分、さらにパワーアップして開催したいと考えた。

※『高校生と学ぶSDGs』 <https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1125655.html>

#### <イベント実施までのプロセス>

（2023年）

6月 ・『静岡SDGs万博2023』開催中止

・ドリーム・プロジェクト採用企画に選出通知

8月 ・鉄崎幹人のWASABI生放送出演

・企業様とのお打ち合わせが徐々に多くなっていく

11月 ・US公式SNSにて『静岡SDGs万博2024』の開催をお知らせ



- ・『若者チャレンジファンド』の選考を突破。集合メンタリングで大人の方々から意見やアドバイスをいただく
- ・Podcast 『静岡人大学』に出演
- ・静岡新聞に掲載

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1352828.html>

(2024年)

- 1月 ・ほぼ毎日昼休みと放課後は打ち合わせの予定あり
- 2月 ・参画企業向けの事前説明会を開催
- ・K-mix 『MOVE ON』に出演
- ・SBS ラジオ 『ヒデとキトーの FooTALK!』に出演
- ・FM-Hi! 『あさラジ!@Morning (金曜日)』に出演
- ・静岡新聞 この人に代表の川畠が掲載

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1408400.html>

- ・静岡新聞に掲載

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1418871.html>



## <イベント当日>

- ・大雨により、イベントの規模を縮小して開催
- ・ステージ→中止 飲食店→10店舗から3店舗

テントブースでは、SDGsを楽しみながら知ってもらおうコンテンツを各企業・団体・学生が出店！有志団体 US は SDGs ワークショップ『お野菜スタンプでエコバッグ作り』と、レモネードスタンド活動を実施。また企業さんは、日頃の取組を PR すると共に、初お披露目のキャラクターグッズを配布してくれたり、子どもたちが楽しめるワークショップやカードゲームを行ったりしてくださった。

飲食ブースは3店舗に減ってしまったが、いもじえんぬさん、CAPE COD さん、ケーキ屋 ショコラファンさんのご厚意により、大雨の中でも出店してくださった。

ステージブースは中止となってしまったが、当日 MC を予定していた鬼頭里枝さん、スペシャルゲストでイベント応援大使の fishbowl さんのご好意により、イベントエリアをぶらぶら回る YouTube 撮影を行ってくださった。(動画は後日 US 公式 YouTube で公開予定)



鬼頭里枝さんと fishbowl さん



イベント会場



行政ブース



焼津温泉ブース



SDGs ワークショップブース



ブースはこんな感じ

## 5 感想

- ・大雨の中のイベントだったが、事故等なく終わることができてよかった。
- ・6月に中止したイベントの代替案での開催だったが、協賛企業の皆さんやブース、抽選会等でご協力いただいた方々のおかげで、6月のコンテンツからパワーアップして開催することができた。
- ・2月の大雨で気温も低かったため、焼津温泉のブースがとても人気で目玉コンテンツの一つが来場者の皆様に刺さってくれてよかった。
- ・打ち合わせを昼休み・放課後の時間で行ったため忙しさはありつつも、イベントが終わった後の達成感は大きかった。
- ・活動をただ行うのではなくイベント PR も積極的に行い、チラシや新聞、ラジオなど集客とあわせて団体のことを知っていただけた。